

歴史文化学科

キャリアデザイン・ポリシー

1. 歴史・文化を解明していく過程で得た知見や情報分析能力を活かし、社会活動における様々な分野で課題の発見と解決を自ら行なえる人材を育成する。
2. 多角的な視点から日本や世界の地理・歴史を深く学び、異文化に対する洞察力を備えた教員を育成する。
3. 学芸員・考古調査士・アーキビスト等の資格を持ち、歴史・文化に関する高い調査研究能力を身に付け、関連する諸機関で活躍できる専門人材を育成する。
4. 歴史と文化を深く理解し、自ら学んだことを活かしながら、地域協働の担い手となり得る公務員を育成する。

学科専門分野と卒業後のキャリアの関連図

◆目指す職業と履修モデル

